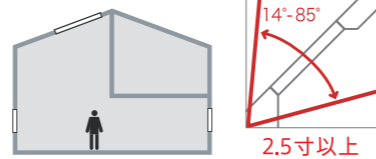


スカイビューシリーズ FS SR スチール補強天窓

H28年省エネ基準
1~7地域に適合

本体熱貫流率
2.33W/m²・K



断熱性の高い木製枠をスチールで補強したフィックスタイプ。
「30分耐火の屋根」を求められる建物に光を届けるべくカスタマイズした天窓。



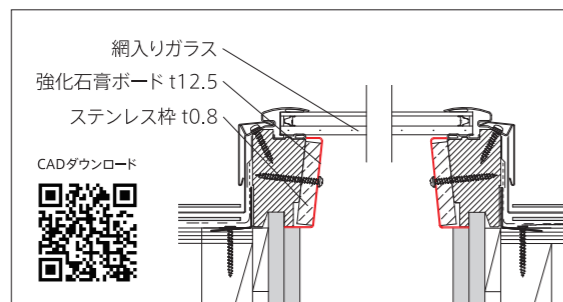
外観色: デニッシュグレー



内観色: SUS304 2B (表面研磨なし)

■呼び寸法と規格サイズ

550	M25	
700	C01	
780	M02	
980	M04	
mm	← 550 →	← 780 → ← 1140 →

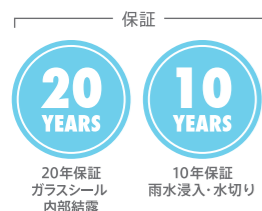
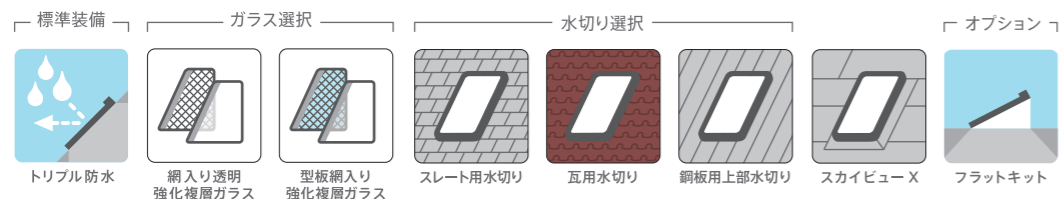


■主な仕様

- 主部材** 外装板(アルミロールフォーミング成形・デニッシュグレー)、木枠(ハイイン材・水性アクリル系クリア塗装)
- 副部材** 固定金具枠(亜鉛メッキ鋼板、粉体塗装)、機密材(TPEガスケット)、ステンレス枠(ステンレス、強化石膏ボード)
- ガラス** 高断熱・遮熱複層ガラス(外側/強化ガラス標準)、合わせガラスに使用のフィルム: 厚さ 30 ミル(0.76mm)
- 取付可能勾配** 2.5 寸以上
- 出荷形態** ガラス組み込み済み完成品
- 別売品** 水切り

■FS SRの注意点

- ※販売地域は、北海道・沖縄を除く地域となります。
- ※防火設備認定品ではありません。H12年建告第1399号第五(三)への対応「鉄材(ステンレス)で補強された網入りガラス」
- ※耐火・準耐火への適用判断は各地域の行政/申請機関にご確認ください。
- ※FS専用ブラインドの取付はできません。市販の天井付けブラインドをご検討ください。
- ※ステンレス枠は結露を起しやすいため、室内の湿度を抑え、天窓周辺の換気が十分に行えるようにしてください。
- ※網入りガラスの熱割れ、ガラスや窓枠の結露は保証対象外となります。



水切り—P36・63参照
価格表—P11参照

※垂直設置について詳細は
お問い合わせください。

仕様と性能

■設計仕様

規格サイズ	FS SR C01	FS SR M25	FS SR M02	FS SR M04	
取付可能勾配	14-85°	14-85°	14-85°	14-85°	
外枠外のり寸法	WxH(mm)	546 × 695	776 × 547	776 × 775	776 × 975
野地開口寸法	mm	546 × 695	776 × 547	776 × 775	776 × 975
採光面積 ※※	m ²	0.25	0.29	0.44	0.57
正味重量 FCM 0004	kg	16	19	23	28

■ガラスの仕様と性能

		外側ガラス+ガス層+内側ガラス mm	日射侵入率% (日射熱取得率:η)	日射除去率 %	UVカット率 %	ガラス熱貫流率 W/m ² ・K	本体熱貫流率 W/m ² ・K
遮熱・断熱・強化	FS SR 3028 網入り透明強化複層ガラス	Low-E強化+アルゴンガス層+網入り透明 3 8 6.8	29(0.29)	71	96	1.7	2.33
	FS SR 3035 型板網入り強化複層ガラス	Low-E強化+アルゴンガス層+型板網入り 3 8 6.8	29(0.29)	71	96	1.7	2.33

日射侵入率はJIS R 3106、UVカット率はISO 9050、ガラス熱貫流率はJIS R 3107による。本体熱貫流率は、つくば建築試験研究センター実測値

■性能表

項目	等級と対応値	条件
耐風圧性	S-6 (平均風速66.9m/sに相当)	JIS A 4706
気密性	A-4	JIS A 4706
水密性	W-5 (最大瞬間風速34.6m/s・降水量240mm/hに相当)	JIS A 4706
	80分間漏水なし (平均風速30m/s・降水量120mm/hに相当)	社内風洞実験
断熱性	H-5 (K=2.33W/m ² ・K以下)	JIS A 4710
遮音性	T-1	社内試験 / ISO140-3

天窓の防火における扱い

※天窓(トップライト)の防火における扱いに関して、建築基準法上、明確な規定はなく、法令などに基づく規格・試験方法・認定等が現状定められていないため、判断は行政の主事等に委ねられています。

参考 <天窓(トップライト)の防火および耐火上の考え>

- ・トップライトは防火上、耐火上の点からみると「屋根」として考える必要がある。「外壁」の一部である防火設備の規定対象とはならない。
- ・防火地域および準防火地域以外の市街地の屋根については、法第22条に従い不燃材で仕上げる必要がある。
- ・耐火建築物または準耐火建築物であることを求められる建築物の場合は、主要構造物である屋根として30分耐火を満たす必要がある。
- ・準防火地域の木造3階建ての天窓はイ準耐(30分耐火の屋根)と同じ扱いになります。

準防火地域			その他の市街地
4F~ (または1500㎡を超える建物)	3F (または500㎡を超える建物)	1F~2F	1F~
新防火地域 ※注1			
4F~ (または500㎡を超える建物)	1~3F	1F~2F	1F~
防火地域			
3F~ (または100㎡を超える建物)	1~2F		
耐火建築 屋根(屋根開口部)	準耐火建築(イ準耐、ロ準耐1延焼あり) 屋根(屋根開口部)	準耐火建築(ロ準耐1延焼なし、ロ準耐2) 屋根(屋根開口部) ※注2	法第22条指定 屋根(屋根開口部) ※注2
30分耐火の屋根 例示仕様: 鉄材で補強されたガラスブロック若しくは網入りガラスで造られたもの「平成12年告示第1399号第五の3」		屋根を不燃材で葺く ただし、網入りガラスが指定される場合あり	
【申請根拠】 鉄材で補強された 網入りガラス でつくられた天窓		【申請根拠】 アルミとガラス(不燃材) でつくられた天窓	

スチール補強天窓

通常品 P45-46